

## 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた

## 授業改善

～社会に開かれた教育課程を目指して～

千葉県立富里特別支援学校

電話 0476-92-2100

FAX 0476-92-1984



### 研究のポイント

新学習指導要領の改訂のポイントの1つである「主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善」を実施し、教育活動の改善に取り組む。その実践を通して富里特別支援学校版「カリキュラム・マネジメントシート(試案)」を作成し、授業や単元、指導計画等の改善を通して、「社会に開かれた教育課程」の編成の実現に近づきたい。

### ■学校の概要

<http://www.chiba-c.ed.jp/tomisato-sh/>

昭和63年に知的障害の養護学校として開校し、現在は富里市と八街市を学区とした小、中、高等部を有する特別支援学校である。知的障害の児童生徒を対象としたB学級と重度重複障害の児童生徒を対象にしたA学級で教育課程を編成している。学校の特徴として施設から通学している児童生徒が多く、特に障害児入所施設からは多くの児童生徒が通学している。

平成26年度に児童生徒数が250名を超えたが、平成29年に栄特別支援学校との分離により、今年度は161名である。(平成30年12月1日現在)

### ■研究課題

新学習指導要領の主体的・対話的で深い学びの実現の視点から授業改善を行う実践研究により、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた教育課程を編成する。

### ■研究の目的と方法

#### 【研究の目的】

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現
- (2) 「社会に開かれた教育課程」の編成

#### 【研究の方法】

- (1) 「主体的・対話的で深い学びの視点」、「育成を目指す資質・能力」、「学力の3要素」を取り入れて授業実践をする。
- (2) 授業改善から教育課程を見直すことができる「カリキュラム・マネジメントシート」(試案)により、「社会に開かれた教育課程」の編成の実現を目指す。

### ■研究概要

#### 【研究実践1】 新学習指導要領に基づいた新しい学習指導案の活用

- (1) 平成29年度の研究により定義した富里特別支援学校としての「主体的・対話的で深い

学び」に基づく、授業実践に取り組んだ。

- (2)新学習指導要領に基づき、単元・題材の目標を「育成を目指す資質・能力」で整理するとともに、「学力の3要素」の観点で本時の評価ができるように、学習指導案の様式を変更した。
- (3)授業研究協議会では、多面的な授業改善ができるように、授業者や授業参観者が「授業の評価」の項目を活用し、協議を行うようにした。

#### 【成果】

新学習指導要領に基づき学習指導案の様式を改善したことで、「主体的・対話的で深い学び」を意識し、授業改善をすることができた。また、「授業の評価」の項目を追加したことにより、本時の授業のみならず、次時や他の単元・題材にも評価を生かすことができ、教員の資質・向上にもつなげることができた。

#### 【課題】

「育成を目指す資質・能力」と「学力の3要素」の関連性に困惑する職員がいた。今年度（平成30年度）、全校研究会の際に、講師から指導を受けたものを共通理解していき、今後も新学習指導要領について理解を深めていく必要がある。

新学習指導要領では「各教科の視点」が重要視されている。そのため、生活単元学習や作業学習、本校独自の「課題学習」などの「各教科等を合わせた指導」で授業実践をする際、「各教科の視点」の取り入れ方や活用の仕方を研究していく必要がある。

#### 【研究実践2】「富里特別支援学校版カリキュラム・マネジメントシート」(試案)の作成

- (1)本校として「社会に開かれた教育課程」の定義を「①学校と社会(家庭・地域含む)が連携し、本校の児童生徒が社会に対して何ができるのかを考えたり、子どもの実態や教育課程(学校の取り組み)を発信し理解を広げたりする。家庭・地域・社会等が求めているものを学校が受信し、理解・実施する。②5年後・10年後の子どもたちの姿や社会の姿を想像し、今の教育課程の中で何をすべきか考え、指導していくこと。」とし、共通理解を図った。
- (2)シートⅠ(流れ図)でPDCAサイクルを明確にし、シートⅡ(単元・題材計画表)、シートⅢ-①(学習指導案)、シートⅢ-②(学習指導略案)を関連付けた。
- (3)シートⅡ(単元・題材計画表)については、各単元・題材が終わる度に「単元・題材を振り返って、今後、何が必要か」を整理できるようにした。その際、本校の「社会に開かれた教育課程」の定義にどのようにすれば近づくことができるのか、人的・物的環境面等も踏まえて記入するようにした。これを根拠に、教育課程の見直しに取り組みたい。

#### 【成果】

「富里特別支援学校版カリキュラム・マネジメントシート(試案)」の作成を通して、「カリキュラム・マネジメント」の方向性が見えてきた。

#### 【課題】

実際の効果は、次年度使用しながら、明らかにしていきたい。職員に本校としての「カリキュラム・マネジメント」の流れを周知・徹底を図り、活用しながら改善をしていく必要がある。そして、富里特別支援学校と学校を取り巻く地域社会に適応した「社会に開かれた教育課程」を編成できるようにしていきたい。

### 関連資料

- ・特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領
- ・特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚部・小学部・中学部)
- ・特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部)
- ・特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)